

### 7.3 盛土造成地

東日本大震災では、盛土造成地において地盤災害が発生し、甚大な被害を与えた。地盤災害の発生形態を模式的に下図に示す。

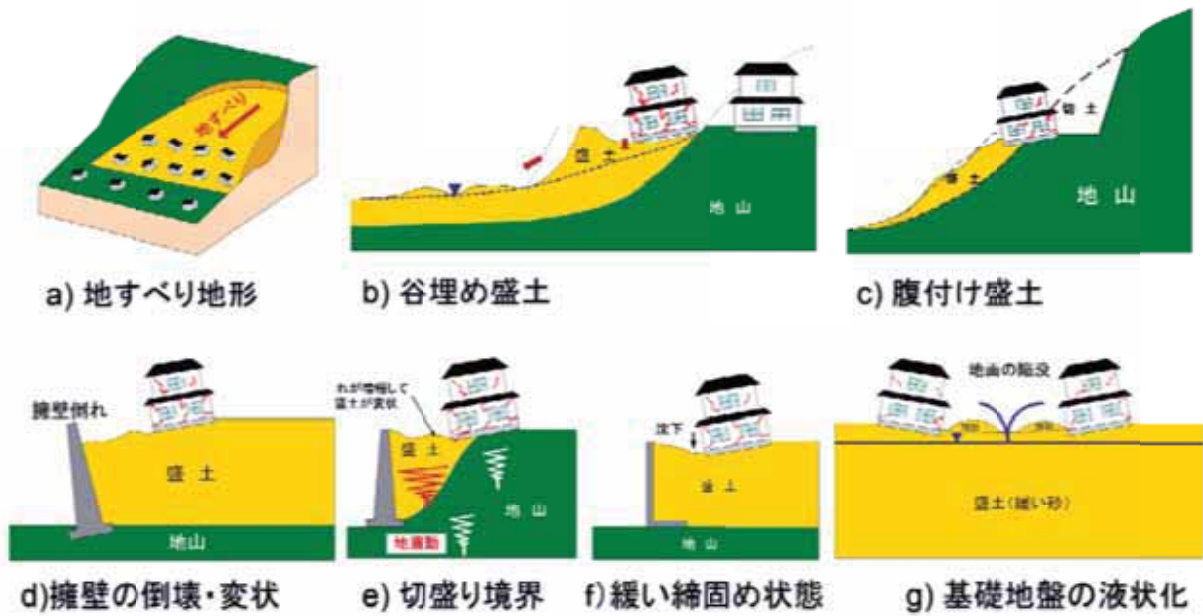


図 7-2 宅地の基礎地盤の地震被害のメカニズムによるパターン分類 (地盤工学会(2011))

## 第2編 参考文献

- 愛知県(1997)：愛知県防災会議地震部会、愛知県活断層アトラス、平成9年9月。
- 愛知県(2003)：愛知県防災会議地震部会、愛知県東海地震・東南海地震等被害予測調査報告書 - 平成14年度版 -、平成15年3月。
- 飯田汲事(1978)：愛知県防災会議地震部会、昭和20年1月13日三河地震の震害と震度分布、昭和53年2月。
- 飯田汲事(1979)：愛知県防災会議地震部会、明治24年(1891年)10月28日濃尾地震の震害と震度分布、昭和54年。
- 亀井祐聡、森本 巖、安田 進、清水善久、小金井健一、石田栄介(2002)：東京低地における沖積砂質土の粒度特性と細粒分が液状化強度に及ぼす影響、地盤工学会論文報告集、Vol.42, No.4, 101-110。
- 桑原 徹(1975)：濃尾傾動盆地と濃尾平野、URBAN KUBOTA, 11, 18-25。
- 経済産業省(2011)：News Release 平成23年東北地方太平洋沖地震について。
- 建築基礎構造設計指針(2001)：日本建築学会、建築基礎構造設計指針、486p、2001年10月。
- 国土交通省水管理・国土保全局海岸室、国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部海岸研究室(2012)：津波浸水想定の設定の手引き Ver.2.00、平成24年10月。
- (財)国土技術研究センター(2007)：津波の河川遡上解析の手引き(案)、平成19年5月。
- 小谷美佐、今村文彦、首藤伸夫(1998)：GISを利用した津波遡上計算と被害推定法、海岸工学論文集、第45巻、平成10年11月。
- 近藤善教、坂田章吉、長沼和明、安江勝夫(1991)：日本の地盤 愛知県の地盤、地質と調査、2、28-43。
- 千木良 雅弘(2012)：東日本大震災がもたらした教訓と応用地質学的課題、日本学術会議 土木工学・建築学委員会 並びに東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会主催 連続シンポジウム 巨大災害から生命と国土を護る - 24学会からの発信 - 第4回 講演要旨、2012年5月10日。
- 中央防災会議(2003)：「東南海、南海地震等に関する専門調査会」(第16回) 参考資料2 強震動と津波の高さの検討に関する資料集、平成15年12月16日。
- 地盤工学会(2011)：(公益社団法人)地盤工学会 平成23年度 学会提言の検証と評価に関する委員会、地震時における地盤災害の課題と対策 2011年東日本大震災の教訓と提言(第一次)。
- 童 華南、山崎文雄(1996)：地震動強さ指標と新しい気象庁震度との対応関係、生産研究、Vol.48, No.11, 31-34。
- 道路橋示方書(2002)：(社)日本道路協会、道路橋示方書・同解説 耐震設計編(平成14年3月)。
- 内閣府(2006)：中部圏・近畿圏の内陸地震の震度分布等の検討資料集、平成18年12月7日。
- 内閣府(2011)：南海トラフの巨大地震モデル検討会、中間とりまとめ参考資料集、平成23年12月27日。
- 内閣府(2012)：南海トラフの巨大地震モデル検討会、：南海トラフの巨大地震による震度分

布・津波高について（第一次報告）、平成 24 年 3 月 31 日。

- 日本充てん協会技術委員会資料(2003)：日本充てん協会技術委員会、2003 年。
- 農林水産省農村振興局(2012)：土地改良事業設計指針 「ため池整備」の改訂の考え方について、平成 24 年 10 月 12 日。
- 堀江 毅、金子安雄、村上和男、細川恭史、亀山 豊(1976)：潮流計算における境界等の取り扱い - 特に ADI 方による検討 - 、港湾技術研究所報告、第 15 巻 第 2 号、昭和 51 年 6 月
- 宮城県(1997)：宮城県地震被害想定調査報告書、平成 9 年。

